

平成 29 年度事業 経過報告

展覧会名・会期・入場者数等	内 容
<p>(1) コレクション展 ふれる彫刻・手でみるアート</p> <p>主催:本郷新記念札幌彫刻美術館 (札幌市芸術文化財団) 後援:北海道、札幌市、札幌市教育委員会、</p> <p>■会期 12/16(土)~2018/4/15(日) 99 日間 (継続)</p> <p>■観覧料 一 般 300(250)円 65 歳以上 250(200)円 高大生 200(100)円 中学生以下無料 ※ () 内は 10 名以上の団体料金</p> <p>■入場者数 737 人 (2/28 現在)</p>	<p>【コンセプト】 彫刻作品に手でふれることにより、目で見ただけではわからない素材の質感や量感、立体感をじっくり味わうことができる展示とした。</p> <p>【展示構成】 当館所蔵作品の中から選りすぐったブロンズ・木・石などを素材とする彫刻作品 29 点を展示した。また、彫刻で用いられる素材を紹介したり、素材による質感の違いや独特な触り心地を楽しみながら体感できるコーナーを展示室内に設けた。</p> <p>【関連事業】 (ア)ちびっこ美術館探偵団！さわって見つけるお気に入り [日 時] 1/27(土)14:00~14:30 [会 場] 本館 展示室 [参加者] 5 人 (イ)つくってみよう！ぶにぶにスクーズ [日 時] ①1/13(土) ②3/11(日)10:00~随時受付 [会 場] 本館 ロビー [参加者] ①7 人 (ウ)ギャラリートーク「彫刻の触覚性と視覚性」 [日 時] 2/10(土)14:00~14:30 [会 場] 本館 展示室 [参加者] 2 人</p>
<p>(2) さっぽろ雪像彫刻展 2018</p> <p>主催:本郷新記念札幌彫刻美術館、 さっぽろ雪像彫刻実行委員会 後援:札幌市、札幌市教育委員会 協賛:なよろ観光まちづくり協会、 株式会社スペース・デザイン工業 協力:北海道芸術デザイン専門学校、 北海道札幌平岸高等学校、 河崎ゆかり、水戸麻記子、柴田祐子</p>	<p>【コンセプト】 当館敷地内の雪を用いた造形性の高い雪像を紹介する。</p> <p>【展示構成】 本館庭園を会場に、市内の彫刻家ら 7 名および北海道芸術デザイン専門学校、北海道札幌平岸高校の学生チームが雪の彫刻作品 10 基を制作・公開した。会場には雪のすべり台を設け、本館ロビーでは参加作家の小品等を展示。開場時間を 17:30 まで延長し、日没後のライトアップされた雪像の姿を来場者に楽しんでもらった。 [出品作家・団体] 板本伸雄、熊谷文秀、佐々木仁美、佐藤一明、さとうゆうき、清水宏晃、野村裕之、北海道芸術デザイン専門学校クラフトデザイン専攻、北海道札幌平岸高等学校 2 年生彫刻専攻</p> <p>【関連事業】 (ア)缶バッジづくり [日 時] 1/26(金)~1/28(日) 10:00~16:00</p>

<p>■会期 1/26(金)～1/28(日) 3日間</p> <p>■観覧料 無料</p> <p>■入場者数 458人</p>	<p>[会場] 本館 ロビー [参加者] 25人</p> <p>(イ)牡丹江国際雪彫刻大会報告会 [日時] 1/28(日) 14:00～16:00 [会場] 本館 研修室 [内容] 中国黒龍江省牡丹江市で行なわれた国際雪彫刻大会に出場した本展出品作家・清水宏晃氏らチーム・メンバーが大会の様子や制作について報告を行った。 [参加者] 23人</p>
---	--

(3) 普及事業等

事業名	実施日	参加者(人)	内容
子どもの美術体験事業 ハロー！ミュージアム (彫刻美術館コース)	通年	20校 (27回実施) 計1,311人	子どもたちにすぐれた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むことを目的に、札幌市の小学校5年生を美術館に招待して鑑賞活動を実施。今年度からは美術館スタッフによる事前学習に代え、各学校で美術館でのマナーや鑑賞する作品等についての事前学習を行ってもらい、当日は学芸員および美術館協力員との対話による作品鑑賞とワークシートを組み合わせた鑑賞プログラムを行った。
三角山小学校3年生総合学習への協力 「彫刻美術館探偵」	通年	のべ509人 (2/28月末現在)	三角山小学校3年生が総合的な学習の時間を使った授業「彫刻美術館探偵」として、本郷新の彫刻や美術館職員の仕事について学んだ。学校と一体となりながら授業の内容を検討し、来館時の作品解説などの対応や学校での作品発表会に向けた展示についての出前授業を行なった。また、授業の集大成として児童が制作した粘土作品を自ら展示し、「三角山の生き物展」として一般公開した。 会期：2月23日(金)～25日(日) 観覧者：80人

事業名	実施日	参加者(人)	内容
美術館めぐり	10/13(金)	18人	市内の美術館をバスでめぐり、学芸員の解説とともに美術鑑賞を楽しんでもらった。[行先]札幌彫刻美術館、道立近代美術館、芸術の森野外美術館
	3/14(水)		市内の美術館をバスでめぐり、学芸員の解説とともに美術鑑賞を楽しんでもらった。途中、芸術の森でお昼休憩をとった。[行先]札幌彫刻美術館、道立近代美術館、芸術の森美術館(昼食:畑のはる)
冬休み子ども造形教室 くるくるペーパークイリングで葉っぱのレリーフ制作	1/10(水)	23名	小学生を対象に細長い紙を巻いてモチーフをつくるペーパークイリングの技法を用い葉っぱのかたちのレリーフを作成した。 講師：川名義美(彫刻家)
おとなの造形教室 いろどりの家	2/17(土)	5名	木片をナタを使い家の形にしたものに、自由に彩色したり彫刻刀で模様を彫ったりして作品を制作した。 [講師] 加賀谷健至(芸術の森木工専門員)
連続講座2017 ぶらり、彫刻散歩の休日	①9/10(日) ②11/5(日) ③12/17(日)	①9/10 21人 ②11/5 20人 ③12/17 24人	彫刻鑑賞について学ぶ3回連続講座。 [会場]札幌市教育文化会館 [講師]9/10「古きをたずねる」谷古宇尚(北海道大学教授)、11/5「新しい彫刻にであう」神長敬(株式会社KITABA代表取締役社長)、12/17「異端の彫刻にふれる」山田のぞみ(当館学芸員)

(4) アウトリーチ事業

事業名	実施日	参加者(人)	内 容
3日間だけのことに美術館彫刻家・本郷新展	2/9(金)~11日(日)	437人	西区民センターと連携したアウトリーチ事業。当館所蔵の本郷新の彫刻作品を出張展示し、本郷新の魅力を市民に広く紹介。また、会期中、詩の朗読とギター演奏、講演によるイベントを開催した。 ①朗読、音楽、講演のタベ 2/10 ②札幌彫刻美術館友の会ウェルカムトーク 2/10 ③ギャラリートーク 2/11 [会場]札幌市西区民センター 会議室

(5) 本郷新記念札幌彫刻賞

事業名	日 程	内 容
第2回本郷新記念札幌彫刻賞 受賞作品除幕式	2/7(水)	大通交流拠点地下広場に加藤宏子氏による受賞作品《improvisation ~うけとめるかたち》を設置、札幌市長、柳川慶子氏(本郷家)、酒井忠康氏(選考委員長)等を迎え、除幕式を行い、お披露目となった。